

製造業

- ◇**パン**…事業主が高齢になり、脱退する者が増えてきた。残された者で地域配分をし、進めていきたい。メリット・デメリットは多少あるが頑張っていくしかない。全て子供たちの食育を考えてのことである。
- ◇**酒**…12月の課税移出数量は、前年同月比95.5%と低い水準となった。11月に引き続き比較的大手蔵元の普通酒が回復せず、特に当月は特定名称酒も90.9%と前年割れとなった。しかし、年間での特定名称酒の伸びは平成23年以降102～103%増加、これは全国的な傾向であり、一段と消費者の高級志向が見られる。また、焼酎については98.6%とやや落ち込み、年間を通じては前年比やや減少しており、焼酎ファン層も定着しつつある。清酒輸出に関しては依然として順調な伸びを示しており、国際空港免税店エリアでの試飲販売も好調な中で継続。今後は酒造好適米について、需給と価格安定を図る上で複数年契約方式等を順次導入していくこととしている。県内最初の乾杯条例を施行した笠間市は、先月1周年記念「一斉乾杯」を実施、全国的にも話題性のあるイベントとなった。その後「笠間ぐいのみ」の販売好調、清酒売上にも効果を期待している。
- ◇**納豆**…流通業界に元気がない影響か、先月に続き売上は低調だった模様。天候に恵まれなかったことも、客足に影響したと思われる。
- ◇**菓子**…1月上旬、土産品の売れ行きはまずまずだったが、中旬以降は商品の動きが悪くなり、昨年同月比では売上・収益ともに減少している。
- ◇**繊維製品（袋物）**…平成27年がスタートし、2月の中国旧正月の流れもあり、海外と国内生産が二極化している。円安の影響か、国内生産のリクエストが高まっている様子。
- ◇**木材**…1月は製品の動きが鈍い時期であるが、今年は例年以上に引き合いが見られない。プレカット工場、販売店とも必要当用買いを続けている。年度末は外材製品の値上がりによる国産材需要の回復を期待する声も見られたが、需要回復が弱いいため、外材製品の値上がりも小幅となっている。市況全般に弱保合傾向である。
- ◇**プレカット**…2月に加工機の入替があり作業が出来なくなるため、2月の加工予定分をある程度加工したが目標クリアは出来なかった。やはり、住宅着工は減少している。
- ◇**段ボール**…1月は前年割れ、前年並みと半々。やはりアベノミクス効果が中小には届いていないような。材料が徐々に値上がりしてきて今後が心配である。
- ◇**総合印刷**…製紙大手4社が、2月1日出荷分から印刷用紙価格を10%引き上げると発表。
- ◇**焼物**…新しい年を迎え景気回復の期待があったが、相変わらず低調である。春の行楽シーズンまでに産地内において行動を喚起し、少しでも盛り上げていきたい。
- ◇**鍍金**…受注量、機械の操業率は前年より1割程度増加。プレス・挽物・板金等の得意先も少しずつ増えている。業種的には、建築用資材への鍍金は好調、その他業種も若干増加傾向。業界全般としての景況は前年同月より良くなっており、今後に期待している。金属材料（銅、ニッケル、亜鉛等）、工業薬品とも価格は落ち着いている。但し、貴金属及びニッケルは高値。燃料費や灯油等の値下げが収益に良い影響を与えているが、資金繰りについてはまだ厳しい状況。
- ◇**電化機器**…当月生産高は、対前年比△178百万円（△20.7%）となる682百万円。自動車関連、家電関連共にマイナスの生産高であり、依然として厳しい環境下である。
- ◇**工業団地（農機部品）**…組合員の売上状況は、対前年同月比で組合員7社中2社が増加、5社が減少の全体増減率71%で、雇用人員は93%となっている。団地内企業間の比較としては、売上高の大きい会社・機械装備率の高い会社ほどこのギャップが大きくなっている。2月初めに主得意先より4～9月期の計画情報修正見直しの情報提供があった。早急に受注部品の量的変動・設備・人的工数の増減等の確認や対応策が必要とされている。

非製造業

- ◇**セメント卸**…袋セメントの出荷袋数は、前年同月比約11%の減少。公共工事は増勢基調にあるものの、資材の高騰と人手不足から請負額は前年を下回っていること、また、戸建住宅の減少もあって前年比減少となった。
- ◇**水産卸**…精算所取扱高は前年同月比8.72%の増。水産低温仕分場増設（1,124㎡）工事、1月20日完成。安全・安心な市場流通を諮り、品質管理の高度化を目指す。
- ◇**食品卸売**…野菜は数量減、単価高で推移。人参・白菜の入荷量が、12月までの安値の影響を受け減少し、全体的な数字にも響いてしまった。果実に関しては、数量減・単価高で推移。雪の影響でミカンの数量が減少、曇天の影響で苺の単価が上がるなどした。
- ◇**県南地区卸売**…組合員1社、店舗手狭により隣接地に冷凍庫増設、更に土地購入。
- ◇**県北地区共同店舗**…トータルでは売上前年比微減

となったが、好不調店舗の二極化が鮮明になり、沈黙者にふける。

- ◇**県央地区共同店舗**…衣料品を中心に2階店舗の苦戦が目立ち、全体でも昨年度売上を確保することが出来なかった。人員の確保も難しい状況。
- ◇**県南地区共同店舗**…客数の減少が続いており、特に大型ファストフード、アミューズメント関連の減少が著しい。近郊大型店の影響が大きい業種・部門の低迷が続いている。
- ◇**家電**…業績回復が遅れ、商品売上に大きく影響している。また、店主の高齢化等もあり、マイナス面ばかりの年初めのスタートとなる。しかし、優れたお店もたくさんあり、世の中がこのような中でもアフター・親切・技術力で顧客との接点を着実にとらえ成果を上げている店もある。今の時期こそ存在感をアピールする必要性が求められているので、対策を駆使したい。
- ◇**農機具**…米・野菜価格下落による販売減少、これにより資金繰りが悪化していて先行きが心配である。
- ◇**中古自動車**…1月のオークション出品台数は対前年同月比9.3%減と引き続き厳しく、成約率は上がっているものの絶対数が少ないため、売上も減少した。小売店も例年の初荷よりは極めて厳しい状況であった。
- ◇**石油**…原油価格の急落により、ガソリンの販売価格は前年同月比で20円値下がりしているが、安値販売競争により仕入価格の値下げ額より販売価格の値下げ額の方が大きいため、経営環境は非常に厳しい状況が続いている。
- ◇**ホテル旅館**…新年懇親会等での入込の減少は見られるものの、大学受験等での予約状況は、昨年よりやや多めに思われる。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車は103.4%、軽自動車は100.9%と普通車、

軽自動車ともに増であった。

- ◇**総合建設**…市関係の土木工事の発注がほぼ終了した。これから3月までに年度内工事完成となる。次年度の工事発注がいつになるのかが各社の不安である。毎年のように4, 5, 6月の工事量減少対策を行わなければならないが、土木専門業者は公共工事専門であるため対策も限られたものになる。中小企業者はかなり厳しい状況となる。
- ◇**県北地区運輸**…主要顧客の出荷物量は、昨年より上向き傾向となっている。しかし、燃料価格は値下がりとなっているも、コストアップの吸収とまではいかず、収益悪化が継続している。
- ◇**県東地区運輸**…年始は、生活用品・雑貨・食品・衣料共に動きがあったが、中頃から荷が減少した。ほぼ平年通り。12月に引き続き軽油価格も値下り傾向だが、運賃も低迷が続いているため、経営は苦しい。

H27.1月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品製造業	☔	▲	66.7	☔	▲ 33.3
その他製造業	☔	▲	35.0	☔	▲ 45.0
卸売業	☁		0.0	☁	▲ 25.0
小売業(商店街を含む)	☔	▲	81.8	☔	▲ 81.8
サービス業	☀		50.0	☀	50.0
建設業	☔	▲	60.0	☔	▲ 60.0
運輸業	☁		0.0	☔	▲ 50.0
全体		▲	44.0	▲	48.0

【天気図の見方】県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

☀	☁	☔	☔	☔
30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値



感動のそばに、いつも。

JTB関東法人営業水戸支店は、旅行業界のリーディングカンパニーであるとともに、旅行のプロフェッショナルとして常にお客さまへ質の高いサービスを提供してまいります。また、地域社会の一員として地域活性化、地域振興にも取り組んでいます。

☎029(225)5233
JTB関東 法人営業水戸支店

〒310-0803 茨城県水戸市城南1-1-6
 サザン水戸ビル2階
 FAX. 029 (226) 4017

営業時間 月~金曜/9:30~17:30
 (土曜・日曜・祝祭日休業)

総合旅行業務取扱管理者 永井洋之
 株JTB関東 (社)日本旅行業協会正会員
 観光庁長官登録旅行業第1578号

